

親潮

北水同窓会誌

2012
300

No.2

北水同窓会 <http://hokusui.fish.hokudai.ac.jp>

第300号
平成24年度 第2号

OYASHIO



特集 北水の今

海藻の魅力と将来性

- 総会案内
- 会員の受賞
- 本部幹事長報告
- 寄稿
- 支部会・クラス会報告
- 来訪 OB/OG ほか

CONTENTS

第93回(2013年)北水同窓会定期総会 開催案内	3
特集 北水の今 海藻の魅力と将来性	4
宮下 和夫(特別会員)	
会員の受賞	8
佐藤 立治 氏(昭36工)	
本部幹事長報告	9
北海道大学ホームカミングデー開催/北水同窓会韓国支部の立ち上げ	
寄稿	12
鶴沼 ワカ(特別会員)/西川 和夫(昭44食)	
支部会・クラス会報告	17
第17回臥洋会報告(昭和36年卒業同期会) 第59期[44年卒]漁業学科同期会 44年振り再会、昔を懐かしむ 北水同窓会京滋支部総会報告/北水同窓会広島県支部会'12報告 北水同窓会函館支部 平成24年度総会・懇親会	
来訪 OB / OG	21
学位取得と論文題目	21
会員の異動	21
会員死亡通知	22
親潮投稿規定・編集後記	22

被災地同窓からの義援金に対するお礼の手紙やはがき

自らも被災されたり、職場が被災したり、さらには個人情報保護法という壁も立ちはだかる中、各被災地同窓会支部の幹事の方々による同窓生の被災状況把握が行われました。そしてそれを基に、全国の同窓各位のご厚意によって集められた義援金が、深刻な状況にある同窓ご本人や、亡くなられた同窓のご家族に届けられました。

ある被災同窓生は、仮設住宅にお住まいの中、礼状をわざわざ同窓会本部にお送り下さり、その礼状の中で「義援金は前進に向け、活用させていただきます。」と述べておられました。このことからわかるように、同窓の義援金は、その目的を間違いなく果たしつつあります。

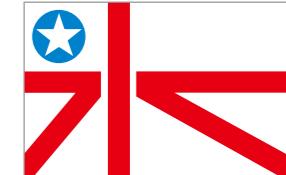
宮古の教員の方からは、義援金へのお礼とともに、おしゃろ丸への感謝の気持ちが綴られているお手紙を頂戴致しました。そのお手紙には、「震災後半年ほど、震災の爪痕が残る宮古港に、おしゃろ丸が半旗を掲げ、入港してきたときは涙があふれて止まりませんでした。」という感動的なお言葉が載っております。水産学部にとってのおしゃろ丸は本当に大きな存在であることを改めて知らされました。

皆様方の被災地同窓へのご厚志に対し、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

北水同窓会本部 幹事長 高橋 是太郎
(平成25年2月吉日)

第93回(2013年) 北水同窓会 定期総会

開催案内 [名古屋にて開催!]



ようやく春めいて参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
第93回北水同窓会定期総会を下記の通り名古屋にて開催いたします。
多数の同窓のご出席を心よりお待ちしております!

日時 ● 2013年5月25日(土)

会場 ● ウェスティンナゴヤキャッスル

〒451-8551 名古屋市西区樋之口町3-19

Tel : 052-521-2121

アクセス

《地下鉄》鶴舞線
浅間町駅下車 徒歩8分
《直通シャトルバス》
JR名古屋駅
広小路口バスのりば発
10:00 ~ 20:00
(各00分発, 所要20分, 無料)



受付 ● 13:00~

総会 ● 13:30~14:00

講演会 ● 14:00~16:00

堀込 智之博士(昭46ギ)
『海岸を襲う津波のメカニズム
—実験と東日本震災津波の現地調査を通じて』

講師略歴: 堀込智之(ほりこみともゆき)博士
昭和46年北海道大学水産学部漁業学科卒業
元宮城県高校教師 工学博士
著書「海に沈んだ故郷」 堀込光子・堀込智之共著(2011年)
「波をつかまえる」堀込智之(2002年)

懇親会 ● 16:30~18:30

会費 ● 7,000円

総会参加希望の方は「1.お名前」、「2.卒業年・学科」、「3.連絡先住所」、「4.Fax番号・電話番号・E-mailアドレス」をご記入の上**5月10日(金)までに**下記宛にお申し込みください。

お申し込み先

北水同窓会愛知県支部

支部長 藤井 洋治(昭42ギ)
〒451-0075 名古屋市西区康生通3-24-603

TEL&FAX:052-531-3994
E-mail:ugg43661@nifty.com

幹事長 神保 重孝(昭54ギ)
〒453-0826 名古屋市中村区鈴池町1-67

TEL:052-482-7222 FAX:052-482-7224
E-mail:s-jimbo@nagoya-syoji.co.jp

海藻の魅力と将来性

宮下 和夫 (特別会員)

■はじめに

私の生まれは長野です。四方を急峻な山に囲まれていたため、山の向こうに何があるのか?また、海とは何なのか?といった子供のころからの疑問は私の精神の源泉でした。あの山を越えて活躍したいとの気持ちは多くの長野の高校生が持っていたように思います。幾つかの回り道はありましたが、結果的に北大で水産物の研究をするようになったのもこうした思いがあったからでした。「水産物は海からの贈り物であり、人間にとっては宝のようなものです。」と学生には良く話します。

例えば“水産物は体にいいもの”という感覚は皆さんお持ちのことと思います。魚を食べる習慣のあまりなかった欧米や中東の国々でも、健康を考え、また、水産物の美味しさに目覚めて、刺身やお寿司が外食の定番となっています。さらに、最近では、海藻の健康増進作用も理解されるようになりました。それまでは役に立たないものとして扱われてきた海の雑草が、一躍舞台に登場してきています。

■海藻の重要性

今、私たちの研究室ではこうした海藻、特に、コンブ・ワカメ・ヒジキといった褐藻に注目しています。日本人は縄文時代から海藻を利用してきた民族であり、海藻は日本の伝統食といえます。島根県鰐淵村・猪目洞窟(縄文式、弥生式、土師器各時代の遺物が重層となって出土)では、アラメやホンダワラ

類が、高知県宿毛市・竜河洞遺跡の土器にはヒジキが、青森県・亀ヶ岡の泥炭遺跡縄文式土器中にワカメの束が発見されています。常陸國風土記や肥前國風土記といった国々の風土記や、延喜式などに神饌としての海藻の重要性が述べられています。世界でも、何種類かの海藻を食用としている地域はあります。比較的よく食べるのは韓国やハワイなど太平洋の島々や沿岸地域ですが、

食事の主要品目とする国は日本くらいです。実はこうした海藻の食分化を研究した市井の研究者がおりました。この研究者は筆者の父であり、海藻だけでなく、鰹節などの我が国伝統の食文化史をこつこつと調べあげ、数冊の出版物として世の中に出ております。

今、海藻は加工食品の重要な素材として世界中で広く活用されています。これは、海藻から得られる粘性多糖類の需要が高くなつたためです。インドネシアなどでは、かつてのエビの養殖場が海藻養殖に転用されており、その生産は年々増大しています。また、海藻類には非常に早い速度で成長するものも多く(例えばジャイアントケルプ)、その高い炭酸ガス同化作用と有機成分のエネルギー資源への活用研究も注目されています。特に注目すべきは海藻の生育に必要な水は海水から得られるということです。今、我が国は多くの飲み水を食糧と共に輸入しています。それには多額の資金が必要ですが、同時に、発展途上国の水事情を厳しくさせている現実もあります。海藻を食糧



宮下章著(法政大学出版局)

バイオマス資源としての海藻の優位性

	農作物	森林	海藻
年間の生産回数	1~2回/年	1回/年	1~6回/年
炭酸ガス固定力 (Ton/ha)	5~10	4.6	36.7
バイオマスエネルギー生産工程	シンプル	複雑(リグニン除去)	シンプル
問題点	食料と競合	陸地を利用	なし
生産条件	日光、CO ₂ 、淡水 陸地、肥料、農薬	日光、CO ₂ 、淡水 陸地、肥料、農薬	日光、CO ₂ 、海水

などの様々なバイオマス資源として活用する技術を開発することにより、こうした問題や矛盾を解決する一助になることも期待されます。



フコキサンチンを含む褐藻利用への世界的な関心。その研究中心となっている北大水産科学

■水産物の栄養機能性

幾つかの水産物由来の機能性成分を下の表にまとめてみました。キチン、キトサン、コラーゲン、コンドロイチン硫酸などは、良く知られていますが、これらの成分はたいへん大きな分子なので、このままでは体の中に入ることはできません。そこで、小腸で分解されるのですが、分解されてしまうとありきたりのアミノ酸や糖となってしまい、そうなりますと、特別な機能性があるとはなかなかいえません。これは、タンパク質や多糖類の栄養機能性を明らかにする上で常に問題となる点ですが、現代の科学ではなかなかこの問題を解決することはできません。

一方、魚油も体の中に入る前に消化されますが、油はタンパク質や多糖類と比較して小さな分子で、そんなにばらばらにはなりません。魚油の場合、消化により脂肪酸とモノグリセリドになりますが、この脂肪酸に特徴的な生理作用のあるドコサヘキサエン酸(DHA)やエイコサペンタエン酸(EPA)などのいわゆるオメガ3高度不飽和脂肪酸(PUFA)が多く含まれています。

海産物の摂取が様々な病気予防に効果的なことは、多くの疫学調査から明らかです。海産物の摂取がなぜ病気のリスクを下げるのかについては多くの研究がなされています。動物を使った基礎研究は主として、農学・水産学分野で、ヒトに対する臨床効果は医学分野で、40年以上前から今日に至るまで膨大な研究データが蓄積してきました。その中で、間違いないとされてきた機能性成分が

海産物の脂質成分として特徴的なDHAやEPAなどのオメガ3 PUFAです。ただ、その機能性についてはまだ不明な点も多く、科学的にはほぼ間違いないとされているのは、アテローム性動脈硬化症予防、心臓病予防、抗コレステロール血症、抗高血圧くらいです。今後の研究が期待されるところです。

■褐藻の栄養機能性

それでは、海藻の栄養機能性はどうなのでしょうか?同じ水産物なのですから海藻にもオメガ3 PUFAは含まれているのでしょうか?答えはイエスです。ワカメやノリなどの褐藻類や紅藻類にはEPAが多く含まれています。また、オメガ3 PUFAだけでなく、脳機能維持に重要と考えられているアラキドン酸も相当量含まれています。同じ光合成を行う陸上植物にはEPAやアラキドン酸は含まれていません。褐藻類や紅藻類を食べることで、わたしたちは魚油を摂取するのと同じような栄養学的な恩恵を得ています。

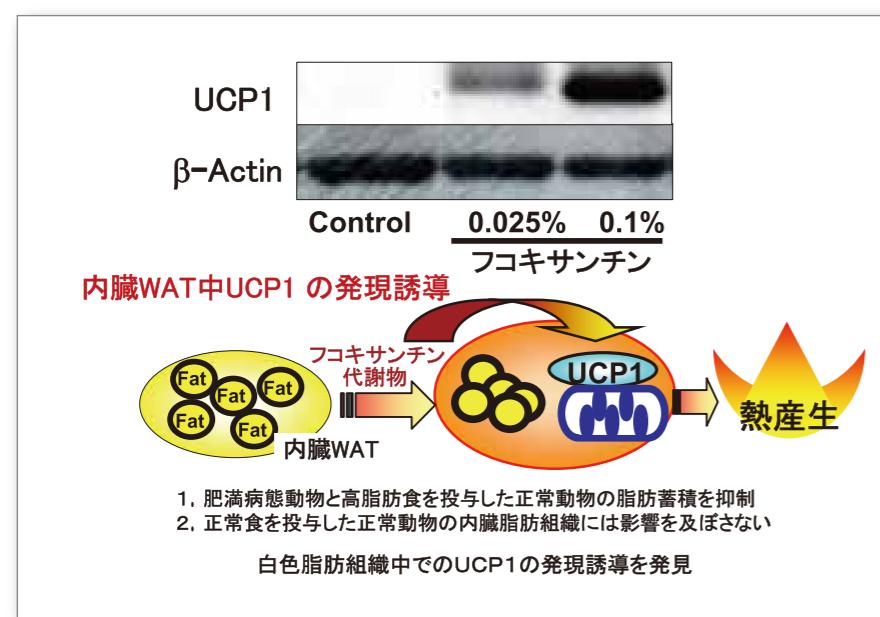
ただ、海藻の栄養機能性については、一定の理解は得られているものの、その重要性は野菜や果物といった陸上植物の陰に隠れてきました。しかし、褐藻に含まれる色素、フコキサンチンの驚くべき生理作用を私たちの研究室で発見したことにより、褐藻に対する注目度がいっきに上がりました。特にフコキサンチンの抗肥満作用と抗糖尿病作用は、独特な分子メカニズムに基づくことと、フコキサンチン以外の成分ではこうした効果が見られないことから、社会的に高い関心を集めています。

主な水産機能性食品成分とその原材料及び機能性

機能性食品成分	原材料	機能性
魚油(EPA/DHA)	魚類(イワシ、マグロ、カツオなど)とその加工廃棄物	アテローム性動脈硬化症予防、心臓病予防、抗コレステロール血症、抗高血圧、抗腫瘍、脳機能改善、視覚改善、骨異常改善、抗糖尿病
キチン/キトサン	甲殻類の殻	関節炎予防、骨関節症予防、抗腫瘍、抗菌
コラーゲン/コラーゲンペプチド	魚類とその加工廃棄物	皮膚の老化防止、抗高血圧
コンドロイチン硫酸	魚類とその加工廃棄物	関節炎予防、骨関節症予防、抗高血圧

■ フコキサンチンの抗肥満活性

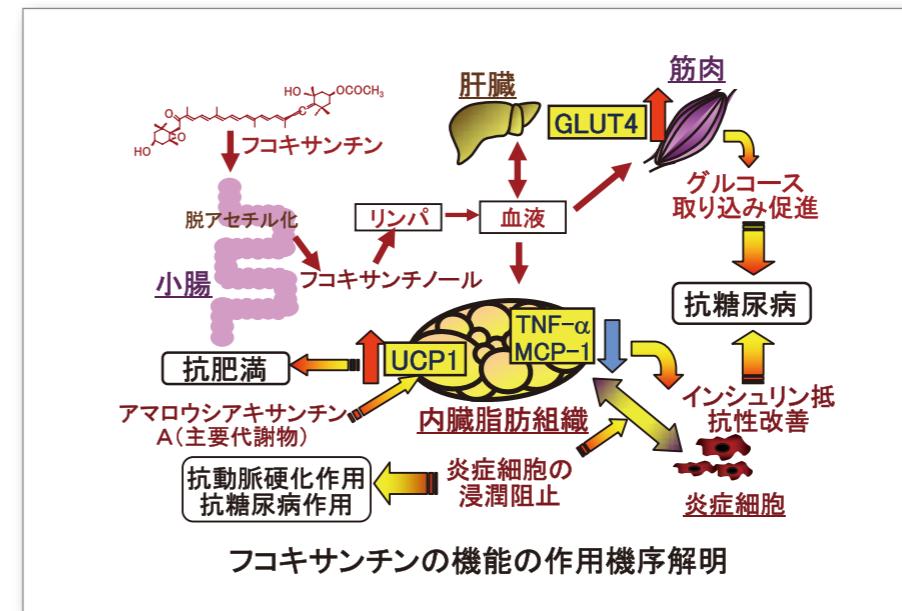
肥満の本当の恐ろしさは、その外見や重量にあるのではなく、内臓の脂肪細胞が一種の「内分泌細胞」として、様々な病態（生活習慣病）を誘発する原因物質（アディポサイトカイン）を生産・放出することにあります。内臓脂肪の大きさと蓄積脂肪量が適度な範囲内であれば大きな問題はありませんが、脂肪が過度に蓄積したり、周囲にある炎症細胞が内臓脂肪組織に入り込むと、高血圧、血中脂質や血糖値の増大といった病態を誘発するサイトカインが脂肪細胞から分泌され、糖尿病や心疾患などの生活習慣病の発症リスクが高まります。基本的に、エネルギー収支を正常に保つことができれば肥満にはなりませんので、食事制限と運動により肥満は簡単に予防できると考えがちです。例えば、短時間の激しい運動やダイエットにより体脂肪の減少は得られます。しかし、こうしたアプローチは根本的な肥満の解消とはならず、かえって肥満病態を深刻化する危険性もあります。肥満の予防には、カロリーだけではない食事内容の改善と、生活スタイルの見直しが必要です。特に、食品成分によるエネルギー代謝の亢進が可能となれば、理想的といえます。



ところで、脂肪組織には白色脂肪組織（WAT）と褐色脂肪組織（BAT）が存在し、それぞれ異なる機能を有します。WATは過剰に摂取したカロリーを脂質として溜め込む役割を持ちます。このWATが増加した状態が肥満です。一方、BATは脂肪を分解し熱を産出することで体温を保持すると共に、余分なカロリーを消費する組織です。この効果はBATのミトコンドリア内膜に特異的に存在するUCP1によるものです。例えば肥満動物ではUCP1の機能が低下していることや、多食しても肥満とならない動物はBAT中のUCP1が増加しています。したがって、UCP1の発現を高めることが肥満の治療に効果的であると考えられることから、UCP1は肥満防止にとって極めて重要なターゲット分子といえます。

しかし、ヒトの場合、BATの存在量は特に年齢とともに少なくなり、BATの増大が必ずしもヒトの肥満予防に寄与するとは限りません。一方、WATは内臓脂肪組織のほとんどを占めており、仮にWAT中でUCP1が発現し、これによりWAT中の脂肪が燃焼すれば、内臓脂肪の減少機構としては最も効果的です。特に、ヒトでの抗肥満を目指す場合には、食品成分によるWAT中のUCP1の発現とこれによる脂肪燃焼は、理想的な食事療法といえます。こうした中、コンブやワカメ等の褐藻中の赤色色素、フコキサンチンが、内臓WAT中のUCP1発現を介した抗肥満作用を示すことを、私たちの研究グループが世界で初めて明らかにしました。

フコキサンチンはDHAやEPAと同様、あるいはそれ以上に体内での作用機構が良く解明された食品成分です。フコキサンチンは小腸から吸収された後、フコキサンチノール



とアマロウシアキサンチンAという名前の代謝物になります。この内、アマロウシアキサンチンAが特異的に内臓脂肪に蓄積し、脂肪細胞の遺伝子を調節して、本来内臓脂肪細胞には見られないUCP1タンパク質を誘導するのです。その分子機構は薬品と同レベルまたはそれ以上に明確となっていますが、薬品と異なり、高い安全性が一方で明らかになっています。その良い例が、フコキサンチンを正常な動物に大量に摂取させても何も起こらないのに、肥満や糖尿病の状態ではごく少量でも改善効果を示すことです。これは食品としてフコキサンチンあるいはフコキサンチンを含む褐藻油を活用する上で大変大事なことです。

■ おわりに

炭酸ガスと水から有機化合物を創り出す光合成は、生物の命を支える重要な反応であるばかりでなく、深刻な問題となりつつある地球温暖化を防止する最も有効な手段としても注目されています。特に、森林などの陸上植物の炭酸ガス吸収能力についての関心は高いものがあります。しかし、海藻類も光合成を行い、その効率が陸上植物よりも優れていることはあまり知られていないように思います。海

藻の器官分化は陸上植物と比較して明瞭ではなく、藻体全表面で光合成ができます。また、陸上植物では3%を超える炭酸ガスは吸収できませんが、藻類では20-40%までの炭酸ガスの吸収が可能です。

海藻類は海洋動物だけでなく人間にも多くの恩恵をもたらしています。高い光合成能力と効率的な炭酸ガス吸収能力により、新たなバイオエネルギー資源として注目されていることもその一例ですが、エネルギー以外の資源として

も様々な用途への利活用が可能です。また、褐藻類などの大型の海藻は魚の産卵場所、あるいは、幼魚の生育場所などとして、また、沿岸の環境を維持する上で極めて重要な役割を果たしています。

食材としての海藻の栄養研究については、海藻を古くから食していたという歴史的な経緯もあり、日本人により行われたものが多くあります。海藻はミネラルや食物繊維が豊富である他、タンパク質のアミノ酸スコアも穀物や野菜などより優れています。また、今回紹介したように、褐藻脂質中には高い機能性を示す成分が多量に含まれていることが明らかになり、海藻、特に褐藻の活用が今後大いに期待できると考えます。

北大には長い海藻に関する研究の歴史があります。水産学部はもちろん、理学部や室蘭の臨海実験所など、世界の海藻研究をリードしてきた北大の実力が、今、様々な分野から求められています。

会員の受賞

CONGRATULATIONS ON WINNING



佐藤 立治 氏 (昭36エ)

瑞宝小綬章受章

北水同窓会青森支部

北水同窓会青森支部長佐藤立治氏(昭36エ)は長年にわたる地方自治への功労(青森県地方公務員)により、平成24年春の叙勲において瑞宝小綬章を受章されました。

佐藤氏は昭和36年遠洋漁業学科を卒業された後、青森県庁職員(技術吏員)となり水産行政を担当し、平成11年4月青森県出納長に選任されました。

今回の受章は佐藤支部長本人の栄誉のみならず、支部同窓一同に携りましても誠に大きな喜びであり、佐藤支部長の益々のご活躍を祈念するものであります。

本部幹事長報告

北海道大学ホームカミングデー開催

本部幹事長 高橋是太郎(昭50食)



食品工場・厨房内の自主検査のお手伝いをします。

HACCP・ISO導入指導及び検証・評価・改善指導

★食品の微生物検査 ★施設類・道具・器具類の拭き取り検査 ★食品の賞味期限の設定
★食品・副資材・調理室の微生物の除殺菌テスト ★衛生関係資材の販売
★各温度帯における保存テスト ★その他衛生指導、社員教育などご相談をお受けします。

株式会社 キュー・アンド・シー

代表取締役 奥野 和弘 昭和42年製造

松原 伸二 昭和62年化学 久保 雅俊 平成12年資源 中川 恵介 平成23年生命 笹原 麻未 平成23年生命

分析室 ☎065-0026 札幌市東区北26条東22丁目6-7 TEL:011-786-8300 FAX:011-786-8266
URL:<http://www.qandc-lab.com/> E-mail:haccp@qandc-lab.com

昨年(2012年)の10月6日(土)、北海道大学で初のホームカミングデーが開催されました。ホームカミングデーとは、同窓生の方々が、学部・学科や地域をそして年代の枠を超えて母校に集い親睦を深め、同窓生相互の発展と連帶強化につなげようというものでした。

また、想い出多いキャンパスで、母校の現状や教育研究の諸活動などを紹介するとともに、恩師、現教職員及び学生と交流することにより、同窓生の方々と北海道大学の連携を強め、相互理解を深めることを目的とするものです。

ホームカミングデー当日は、午前11:00の歓迎式典から始まりました。先ず北大が誇るHBC北海道放送の麗人アナウンサー、船越ゆかり氏(経済学部卒)司会のもと、佐伯 浩総長より北大の近況について報告

がありました。次いで、北大連合同窓会会長の數土文夫会長よりあいさつがあり、ノーベル賞受賞者鈴木章北大名誉教授の若かりし頃を映像で綴った無声短編映画上映の後、司会役の船越ゆかり氏が聞き手になって、鈴木名誉教授へのインタビュー形式の対談が行われました。12:20からは現役応援団による威勢のいいエール、最後に「都ぞ弥生」齊唱で、歓迎式典はフィナーレとなりました。当初は「はたして同窓生が大勢集まるだろうか。閑古鳥状態になりはしないか」と各方面で案じられてきたむきもございましたが、結果はオーライで、満員御礼の式典でした。その後、全体懇談会参加予定者達が北部食堂に移動し、北大農場産の素材をふんだんに用いた食事を堪能致しました。参加者には北大グッズのお土産まであった次第です。

以上の全体行事のスナップ写真につきましては、下記URLをご覧下さい。

<http://www.hokudai.ac.jp/home2012/photo/>

午後2時半からは、学部ごとの催し物となりました。我が水産学部では、学術交流会館を借りて、先ず嵯峨直恒研究院長(特別会員)による水産学部の近況報告(写真)、続いて齋藤誠一(昭50ギ)、安井 肇(昭55ゾ)両教授による文部科学省地域イノベーション戦略支援プログラム「函館マリンバイオクラスター」大

本部幹事長報告

型研究開発事業の解説がなされました。次いでギタリストの宮下祥子氏(平6化)によるギター演奏会が行われ、プロゆえの極めて高度な演奏技術と繊細且つ力強い演奏に皆圧倒され、まばたきすら止まりかねない状態となりました(写真)。感動の演奏終了後、現学部男子学生より花束が手渡され、大きな拍手とともに演奏会を終了致しました。

以上と並行して、水産学部を紹介するポスターパネル展示、産学官連携による成果物の試食可能な展示も会場入り口付近で行われました。

最後は場所を100年記念館内のきやら亭に移し、午後5時から水産学部同窓の懇親会が行われました。嵯峨直恵研究院長による挨拶の後、島中貞夫(昭32ギ)北水同窓会札幌支部長より乾杯の発声で歓談が始まり、久々の同窓生同士の再会に、話が弾むこととなりました。ギタリストの宮下さんも次の予定ぎりぎりまで懇親会場におられたため、酔った勢いで「弦を抑える側の指先を見せて下さい」などというやぶからぼうな先輩の要望もございましたが、それに対しても、宮下さんは快く応えておられました。最後のおひらきの乾杯は、遠路はるばる九州の佐伯市からおいでになられた年少組の梶直人さん(平14資)のご発声により行われ、和やかなうちに会を終了致しました。



来年以降は、札幌での開催(9月28日土曜日)とは別に、10月の2週目当たりに、函館でのサテライト開催も検討致しております。

末筆乍、この度のために遠路はるばるご来臨いただいた方々、多くの同窓にお声掛けいただいた札幌支部はじめ、各支部の支部長、副支部長、幹事の方々に厚く御礼申し上げます。

なお、参加人数は、

講演会とギター演奏会：80名
内訳：OB・OG 62名(除：現水産学部職員)、
同窓会幹事 13名、事務方 5名
学部懇親会：総勢 67名

でした。

北水同窓会韓国支部の立ち上げ

本部幹事長 高橋是太郎(昭50食)



昨年(2012年)の9月11日(火)に釜山で、「北水同窓会韓国支部創立総会」が行われました。韓国には、当大学院に在籍しておられた方々だけでも40名以上いらっしゃいます。生憎、急な開催案内と、日時がウイークデイ真っただ中だったこともあり、在韓同窓の半数弱しか参加できませんでしたが、むしろ大規模にならなかったことで、大変和やかな雰囲気のうちに総会、懇親会(一次会)を終えることができました。

総会では、初代韓国支部長に李珠熙先生(昭59博漁)、支部幹事長に李春雨先生(平3博漁)が正式決定し、李珠熙先生、李春雨先生、嵯峨直恵研究院長、高橋是太郎本部幹事長がそれぞれ挨拶を致しました。次いで、高橋本部幹事長から李珠熙支部長に支部旗が手渡され、懇親会に入る前にこれを手に記念撮影が行われました(写真)。続いての懇親会では、めったに口にできない本格的に調理されたすばらしい韓国料理に舌鼓をうちながら、改めて国を超えた同窓の繋がりを感じつつ、しばし時を忘れて談笑致しました。

二次会は、大変美しいライトアップされた橋が窓に広がるゴージャスな会場に場を移しましたが、そこで

窓からの夜景の美しさに見とれていたのもつかの間、いよいよ「爆弾」が登場し、私もその「爆弾」の犠牲者とあいなってしまいました。続く3次会でも久々に飲み続けたために、翌日は案の定二日酔。お蔭さまで二食不要の状態となり、思わぬダイエットを履行することとなってしまいました。

この度の韓国支部創設に当たり、李珠熙先生、李春雨先生、それに飯田前幹事長(昭51ギ)には大変なお骨折りをいただき、感謝に堪えない次第です。また、研究院長の嵯峨先生にも、超タイトなスケジュールの隙間をみてのご足労、大変有難く存じております。韓国側ご出席の方の中には、お仕事の都合上、遠路大変ハードな旅程でいらっしゃった人もおられ、痛み入りました。

日韓は現在、国境の島の所有をめぐって、国家レベルでは対立状態にありますが、今回改めて、政治とはかわりなく、それぞれの国民同士のじかの交流の積み上げが如何に大切なことであるかを、非常に強く認識させられた次第です。

寄稿

東日本大震災後1年5ヶ月の岩手県を訪ねて

鵜沼 ワカ(特別会員)

“おしょろ丸が来たぞ！” 2012年8月20日、午前8時45分、宮古湾に入って来たおしょろ丸(船長高木省吾(昭58ギ))を、和田秀雄(昭60ギ)、瀧本秀人(昭61ギ)、2人の宮古水産高校教官と私は大手を振って出迎えたものです。昨年の3月11日の大震災で、「実習船を失った宮古水産高校の生徒の乗船実習を助けたい」と昨年の10月に引き続き、今年も8月20日、3泊4日の乗船実習援助のため、おしょろ丸が出向いたものでした。学生時代、おしょろ丸で実習をした卒業生たちは、おしょろ丸の姿を見ただけで、昨年は「ただありがたく、感動で涙が止まらなかった」と言っています。出航式には岩手県支部長の宮澤公明氏(昭45ゾ)も大船渡から駆けつけていました。どれ程、おしょろ丸に感謝しているかが伝わってきました。

8月18日(土)、私が新幹線で盛岡に着いたところ

へ、熊谷正樹氏(昭54ギ)御夫婦が出迎えてくれて、車で遠野へ向かった。熊谷さんは3月まで宮古水産高校の教頭をしていたが、この4月から遠野緑峯高校の校長になった由。遠野の熊谷校長宅に泊めてもらい、19日(日)は早朝から熊谷御夫妻の車で陸前高田に向かった。どこまでも雑草ばかりで、人影はなく、鉄筋の建物も外側だけで中はガチャガチャ、津波で壊されていてカラッポ。そうした風景の中、高田高校に着いた。建物の外側だけで、中はガチャガチャ、カラッポ。校舎は使用不可で、学校を移転させた由。7万本もの高田松原の松、ただ1本だけ残ったという松にも会えました。

夕方、宮古に着き、集まってくれた6人の卒業生に楽しい夕食をご馳走になりました。見てください。打ちとけた時の彼等の笑顔。学生時代そのままです。



和田秀雄(昭60ギ)



瀧本秀人(昭61ギ)



山本敬久(昭62ギ)



熊谷正樹(昭54ギ)



角館 覚(昭56化)



今 祐造(昭57ギ)



2012.8.19(日)私を囲んでくれた卒業生たち

[後列]左より

宮古水産高校教官 和田秀雄(昭60ギ)

宮古水産高校教官 瀧本秀人(昭61ギ)

宮古水産高校教官 山本敬久(昭62ギ)

[前列]左より

遠野緑峯高校校長 熊谷正樹(昭54ギ)

高田高校副校長 角館 覚(昭56化)

宮古水産高校副校長 今 祐造(昭57ギ)

家・家財全部流されたという角館 覚さん(昭56化)までもが、「家族は全員無事です。そしてこれまで通り月給はもらっています」と笑顔で私に言ってくれた言葉、この尊い言葉とあの笑顔を私は生涯忘れないでしょう。

8月20日(月)おしょろ丸が宮古水産高校生の乗船実習を助けに来た日、高校の夏休みが終わり、校長としての始業式の業務を済ませて、昼過ぎ遠野から再び宮古湾にかけつけてくれた熊谷夫妻。「昨年来のおしょろ丸の好意に感謝しないではおれないのです」とのこと。15時、生徒を乗せ、出航式が終わると、再び私を車に乗せて盛岡駅の列車まで見送ってくれた熊谷夫妻のご好意。

宮古で会った卒業生たちのあの笑顔。北大に勤めて、こんな学生たちに出会っていたことを心から感謝し、生涯忘れられない私の宝物になりました。

2012年11月5日、日本経済新聞“卒業生の満足度「北大トップ!!」”の記事、ある卒業生から私のところにこの記事を知らせてくれました。早速、新聞記事を送ってもらい、全国の卒業生にコピーを送ったものです。喜んでくれました。ありがとうございます。

第2回 「闘魚会」開催報告

ラグビー部OB S43~46年卒
西川 和夫(昭44食)

(1) 日時 H24(2012)6/30(土)18:00

場所 札幌市、すすきの、ジャスマックホテル

人数 28名(全OB35名)

当時のラグビー部部員は、北海道～気仙沼～長野～埼玉～千葉～茨城～栃木～佐渡～東京～横浜～京都～大阪～尾道より幹事の呼びかけに応じて28名もの多数が集ってくれました。

第1回目は、今から9年前(H15)、卒業以来初めて34年ぶりに東京にて行われました。OB35名中24名が集ってくれました。

この時は、卒業以来初めてという事もあり、大いに盛り上りました。お互いの近況交換という事で話がはずみ酒も料理もありますすまなかつたようです。終宴した時に、もう一度やろうという事になりました。

再会は久しぶりとなりましたが、全国各地より大勢集まってくれ、幹事としては嬉しい限りです。改めて結束の強さを感じます。

全員で写真を撮り、宴会は幹事の司会進行で始まりました。乾杯～各OBの近況報告となりましたが、3・11(H23)の東日本大震災で自宅を流失してしまったり、会社が流失してしまった仲間があり、改めて今回の震災の恐ろしさを感じております。

又、OB35名の内、春田さん(昭43化)が一昨年逝去されました。改めて御冥福を祈ります。その他のOBは、おおむね健康であり、それなりの問題をかかえた人もおりますが、皆元気のようでした。

宴会が進むにつれ、席を入れ替わって少し振りの親交を深めたり、大いに酒を飲みかわしたり、写真を撮り合ったり、まるで学生時代に戻ったようでした。

約2時間の宴会の最後は全員で肩を組んで輪になり、「水産放浪歌」序詞：富貴名門の女性に恋するを…で始まり、「心だけくも鬼神ならず…」の歌唱、そし

寄稿

て最後に北大寮歌「都ぞ弥生」序詞：我らがみとせをすぎる絢爛の宴は…の歌唱で終了しました。

その後、宴会の余韻を残しつつ、夜の札幌すすきのへ全員で繰り出しました。

2次会は、すすきでの30年間スナックを経営している猪股(昭46ギ)君の店「キー・ポイント」で全員ひしめきあいながら、飲んで～歌って楽しいひと時を過ごしました。そして久し振りの札幌すすきのの夜を楽しもうと3次会へ(殆ど全員)。次の店は「シャム猫」、このスナックは今回参加OBの妹がやっている店でほぼ満員になりました。そして再び飲み～カラオケ三昧で最終02:00頃迄残って親交を深めていた仲間もありました。

学生時代、ラグビーというスポーツとめぐり合い、共にあの楕円球を必死になって追いかけ、苦楽を共にした仲間との宴会はまさに楽しい一言に尽きます。

卒業以来40数年経つのに、お互い会った途端、すぐに学生時代に戻れる、そんな雰囲気の仲間達です。

(2) 闘魚会について

S43～46卒北水ラグビー部員による集まる会であり、「闘魚会」とはまさに闘う魚であり、水産学部ラグビー部にふさわしい名前だと思います。構成メンバーは、

S43卒 斎藤キャプテン 以下9名(計10名)
(内、物故者1名)

S44卒 柴田キャプテン 以下4名(計5名)

S45卒 刑部キャプテン 以下9名(計10名)

S46卒 三宅キャプテン 以下9名(計10名)

合計35名(内、物故者1名)となっている。

この時代の部員は、漁業・遠洋漁業・食品・化学・増殖と全学科出身でバラエティーに富んでいました。そして、卒業以来、東京近郊のOBは水産ラガーのメンバーとしても活躍してきた(水産ラガー…全国の水産系大学卒ラグビー部OBで構成されている)仲間もあります。

卒業以来、東京近郊のOBが、夏は生ビール会～冬は忘年会と5～6名で親交を深めてきて今も続い

ています(東京・有楽町 ニュー・トーキョー中心に)。

ある時、S44卒のOBが東京で卒業以来初めて再会した事がきっかけで、一度、全員でOB会をやろうという話が持ち上がり、第1回目は東京で行いました(H15.3/21 於 日本水産経営のシーフードレストラン「魚魚亭」)。この時は全国より24名が集結しました。

それ以来9年経ちましたが、今回第2回目の開催となりました。今回の「闘魚会」総会の中で、今後全国に散らばっているOBの居住地を中心に継続していく事が決まりました。

[終身代表幹事：西川(昭44食)とする]

(今後の予定)

第3回目H26/1月頃 京都(幹事：昭46ギ 三宅)

第4回目H28頃 佐渡島(幹事：昭45ゾ 木村
(旧姓 中泉))が確定しております。



[後列]左より 坂田(昭43化)・管原(昭46ギ)

松本(昭46ギ)・林(昭45食)・木谷(昭46ギ)

吉原(昭46ギ)・米谷(昭44食)・猪股(昭46ギ)

[中列]左より 田岡(昭46ゾ)・久保(昭46ギ)

柄木田(昭45化)・里館(昭45食)・久保田(昭45化)

室(昭45ギ)・木村(昭45ゾ)・千葉(昭46ゾ)

三小田(昭47ギ)

[前列]左より 西川(昭44食)・大井(昭43ギ)

三上(昭43食)・柴田(昭44ギ)・斎藤(昭43ギ)

刑部(昭45ギ)・三宅(昭46ギ)・小田島(昭43ギ)

阿部(昭43ギ)

内、主将

尚、この書面を借りますが、過去、ラグビーにかかわった人、又ラグビーに興味ある人は「闘魚会」の門戸を開放しますので、参加を希望します(女性も大歓迎です)。

連絡先：西川(昭44食) 090-7214-7206
(茨城県利根町在住)。

(最近のラグビー界の動き)

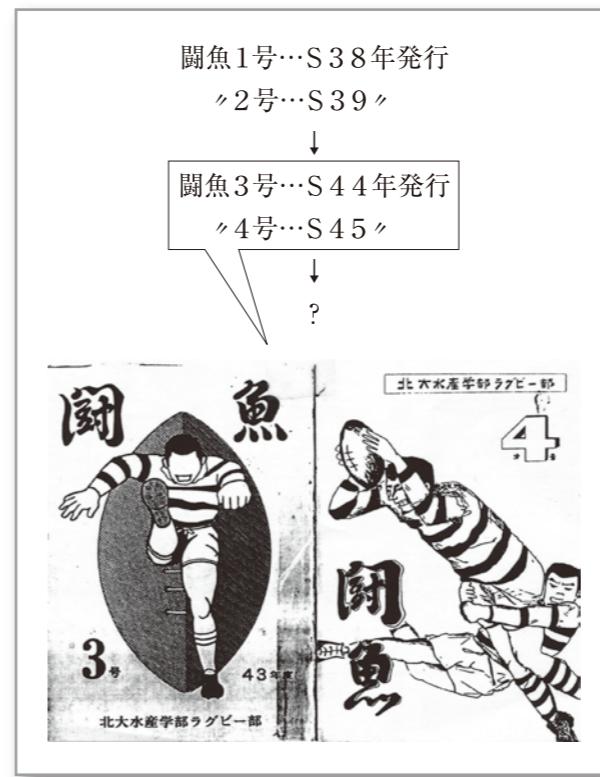
1. 2016(H28) ブラジル、リオデジャネイロ五輪男女7人制ラグビー採用。

2019(H31) 日本にて初めてのワールドカップ(15人制)が行われる。

2. サッカー女子、なでしこジャパンの活躍により、近年女子ラグビー(ラガール=ラグビー+ガール)が盛んになってきました。(1988(S63)に女子ラグビー連盟がスタート)

是非注目して下さい。

(ラグビー部部誌)



尚、闘魚3～4号の部誌が必要な方にはコピーしてさしあげますので連絡下さい
(090-7214-7206 西川迄)。

(3) 最後に、過去歴史に残る東水大との定期戦初勝利!を記します。

東京水産大学との定期戦は、毎年函館と東京のグランドにて交互に行われています。S43年迄は1分5敗と一回の勝利もなく、先輩諸氏は毎年悔しい思いをしながら卒業してきました。

しかしながら、ついにS45～46の部員が刑部主将の元、一丸となってその執念で、7回定期戦に於いて劇的な初勝利をもたらしてくれたのである。
(S44.10/29 14:00 於 北水グランド)。

(結果)
北水 8 - 東水 3

	北水	東水
(前半)	3	0
-----	-----	-----
(後半)	0	3
	5	0
(トライ)		
	8	- 3

まさに終了ホイッスル15秒前の執念のトライ(勝利)であった。

この初勝利は学部移行後、クラブ活動がわずか2年半というハンデキャップを乗り越えてきたS45～46組ばかりでなく、先輩諸氏より引き継がれてきた勝利に対する熱い想いとひたむきな努力の結果であろう。

クラス会 報告

(試合経過 関魚4号より)

北大水産学部—東京水産大学 定期戦	
場所	北大水産学部グランド
日時	10月29日 2時

我校グランドに150余名の観衆を集めて行われた第7回定期戦は、10月29日午後2時に、その試合の幕が切って落とされた。

前半、風上に置かれた我軍は、スピードのある東水のフォワードに若干押されながらも、白熱した試合を開幕する。

この日の勝利を期して鍛えられた両軍のメンバーの気力は充実し、ナイスタッフルがビシビシと決まり、一進一退を繰り返し、均衡はなかなか破れない。

前半18分、ゴール前のペナルティーゴールを成功させ、我軍3対0とリードするも、緊張した膠着状態のまま、前半を終了する。

後半もこの緊張が続き、10分に相手にペナルティーゴールを決められ同点となり、増々試合が白熱し、一進一退を繰り返す。試合を見ている者にはいらだちを感じさせるような試合展開であるが、プレーしているラガーハンマーの顔は真剣そのものである。

後半25分、東水大は地力を出し始めたのか、味方の陣内で試合をすることが多くなる。再三の味方ゴール前での激突はすごいものがあったが、そのピンチをタックルと気力で切り抜ける。

ドロップアウトからのボールがタッチを割り、ラインアウトになり、味方がノックオンをし、東水大ボールのスクラムになる。東水に出たボールを相手のスタンダードがミスするところへ、センターの三宅が突っ込み、そのボールをキャッチし、そのままゴールへ向かって突進する。まさに、試合終了のホイッスルの鳴る15秒前の出来事であった。そのまま70ヤードを一直線に独走しゴールに飛び込んだ……。

7年目にして、とうとう成し遂げた勝利の一瞬であった。

(当時のラグビー部運営陣)

部長 坂井 稔(微生物学講座教授)(故人)
顧問 鈴木 恒由(航海測器学講座助教授)(故人)
顧問 天下井 清(漁船運用学講座助手)

以上

幹 事 西川(昭44食)
札幌幹事 田岡(昭46ゾ)
タク 猪股(昭46ギ)

第17回臥洋会報告 昭和36年卒業同期会

深谷 勲(昭36セ)



昭和36年卒業の同期会(臥洋会)は昨年卒業50年の節目を迎えたが、存続が検討されたが、今暫く継続する事となった。

そんな訳で今年は珍しく(従来は北海道・東京近辺を開催地としていた)信州八ヶ岳山麓のリゾートホテル「ヒルサイドホテル富士見(長野県)」で開催する事となった。

長野県の高校の出身者は同窓生には多い。長野・松本・上田・諏訪・伊那・飯田……等仲間の顔が次々と浮かぶ。

沖縄付近でみちくさしていた台風17号が本州を直撃し始めた9月30日夕刻4時過ぎ、東京より団体バスで到着した22名と地元長野・近辺の愛知・静岡からの4名と合流し計26名で開催された。(早くから準備した割には参加者が少ない。寄る年波にはかなわないよう体調不良を訴える者が多いようだ。)通例の如く夕刻より記念写真、黙祷、幹事報告、乾杯、各自近況報告、宴会……寮歌、逍遙歌齊唱、閉会、二次会とお決まりのコースとなった。浜松付近に上陸した台風17号は猛スピードで本州を通り抜けたようで、ほろ酔い気分の連中にはさして気にならないようであった。翌10月1日は台風一過快晴、廻りには木々の散乱は見られたが大きい被害はなさそうだ。朝9時ホテル前の木洩れ陽の斜す林の前で再び集合写真を撮る。(今回会場となったヒルサイドホテルは当日を以て廃館となる記念すべき日?のこと)

帰路は中央道を東に上り靈峰富士山を仰ぎ乍ら甲

州ぶどうの产地勝沼でワイナリー工場「シャトー勝沼」を見学した後近くの「道の駅」で昼食、数名の者がここで散会。残りのバス組は東京駅で解散となった。

来年は全員後期高齢者(余り良い響きがない)である。春先より種々準備を重ねて来た幹事・写真班諸兄ご苦労様でした。そして来年又北の大地で逢う事としよう。

完

明日の宿居(やどり)は知らねども
吾に友あり吾強し
降(ふ)る困難(くるしみ)をともにせん
誓う心の酒杯(さかずき)に
尽きぬ名残の涙する
今宵限りのこの宴かな

昭和6年閉寮記念寮歌「別離の歌」三番より

第59期[44年卒]漁業学科同期会 44年振り再会、昔を懐かしむ

伊藤 勉男(昭44ギ)

昨秋、四日市の谷口君が鹿児島で市川君に会い、同期会をやろうと。その後東京の大場君、横野君と相談し、5月に私に連絡が入った。

初め東京での予定だったが、第一回は思い出の札幌でと言うことになり、私が世話役を引き受け事になった。

すぐに会場・宿泊にKKRホテルを予約、市川君とメールで連絡を取り合い、準備を始めた。

北水住所録ではもう半数ちょっとしか連絡先が記されておらず、名簿録作成から始めた。又一人又一人と所在が判明するたびに楽しくなった。結果26名分の所在が判明し、不明は3人だけだった。札幌に3人しか知らないのに9人も居るので知りビックリでした。

準備期間が長かったこともあり、函館に行く機会があつて現在の校舎・函館の状況などをデジカメで撮り、学生時代の写真と共に、プロジェクターでのスライドショーを用意が出来た。また学生時代の実

習の写真から一人一人の顔写真を作成し、パンフと一緒に全員に配布したので、互いに名札を見ながら昔の面影とどうにか結びつけられたと思います。

初めての第一回漁業学科同期会は10月13日に札幌KKRホテルで行われました。

当日は全員が集まるか心配したものの、予定通りみんな時間前に集まり、すっかり変わったもの、すぐ分かったもの、44年振りの再会に感激していました。特に阿部君と田中君はすぐには分からなかったが。大場君はすっかり髪が無くなっていました。

参加者は道外から9人、道内は紋別と苫小牧からを含めた8名の所在が判明した26名中17人でした。

集合写真を撮り、横野君の司会進行のもと、宴会は式次第に沿って進められ、故人の黙祷をしたあと、市川発起人の代表挨拶、谷口君による乾杯、一人一人の自己紹介・現況報告(1時間)、昔の思い出写真のスライドショー(25分)、歓談、最後は「水産放浪歌」と「都ぞ弥生」を齊唱し、大場君の締めの挨拶で、あつという間の2時間半でしたが、大盛況に大成功で終えました。本当に懐かしく楽しい同期会でした。

気になったのは病気を抱えている人が多いことでした。これからは、無理しないで一年でも長く生きて、楽しい思い出を作っていくたいものです。

次回はもう来年に、函館で行うことになりました。今回参加出来なかったものも含めて、健康に留意して再会を楽しみにしましょう。



集合写真

前列左から 浅野、田中、広瀬、市川、谷口、大場

中央左から 前田、西村、箕田、雨谷、阿部

後列左から 伊藤、島村、廣吉、太田、渡辺、横野

北水同窓会京滋支部総会報告

小林 正昌(昭39ゾ)

平成24年10月27日に、恒例の京滋支部総会をJR京都駅八条口ホテル京阪内レストラン『オーク』にて開催しました。今回は支部長の改選があり、総会の様子共々下記の通りお知らせいたします。

議事録に沿って

*23年度一般経過報告

*23年度会計報告及び監査報告

高木正夫監査役より監査報告があり、承認されました。

*24年度事業計画(案)、予算(案)

共に承認されました。

*24年度役員、幹事、監査役改選の件

再度全員留任と決定

支部長：小林正昌(昭39ゾ)

幹 事：澤田宣雄(昭60院) 滋賀地区

高木正夫(昭62ギ) 京都山陰地区

*その他

☆役員改選について：

次期(平成25年1月1日より)役員について

小林正昌支部長より退任の申し出があり、新役員が下記の如く決定いたしました。

支部長：近藤忠裕(昭54化)

〒611-0002

京都府宇治市木幡平尾4-282

Tel0774-33-7079

幹 事：澤田宣雄(昭60院) 滋賀地区

高木正夫(昭62ギ) 京都山陰地区

懇親会

三輪先輩(昭30エ)の乾杯の音頭で暫しの歓談。最後に『都ぞ弥生』『逍遙歌』『放浪歌』を大合唱し来年も元気での再会を誓い、散会しました。

以上

北水同窓会京滋支部会

支部長：小林正昌(昭39ゾ)

幹 事：澤田宣雄(昭60院)

幹 事：高木正夫(昭62ギ)

平成24年10月28日



写真左より(敬称略)

澤田宣雄(昭60院)、近藤忠裕(昭54化)、三輪二郎(昭30エ)、小林正昌(昭39ゾ)、今野英一(昭39ギ)、高木正夫(昭62ギ)、大寄良孝(平元食)

北水同窓会広島県支部会'12 報告

伊藤 篤(平5ゾ)

平成24年10月13日(金)午後6時より、北水同窓会広島県支部会'12がJR広島駅ビル内のビヤダイニング広島ライオンにて開催されました。

森岡支部長(昭38ゾ)の挨拶、乾杯の音頭で開宴し、引き続き、支部活動についての報告がありました。参加者9名の自己紹介の後、広島大学大学院教授の井関和夫氏(昭46ゾ)による講演「マリンスノーアと海のからくり」を聴講しました。地球と海についてのクイズで始まった講演では、北大水産学部の潜水探測機「くろしお号」と雪の結晶の研究で有名な北大理学部の中谷宇吉郎教授のつながり、海中に降る雪「マリンスノーア」の研究の話など、興味深い講演に一同、時の経つのを忘れて惹きつけられました。また、永井達樹氏(昭48修漁)による歴史考ブログや羽原浩史氏(昭55化)の淡彩画など、多才な活動も披露され、宴は賑やかに盛り上がりました。

次年度も同時期に開催すること、次回の設営と会計担当者、話題提供者「食品には機能がある方がよ

いのか、ないほうがよいのか? (仮題)」(佐藤之紀氏(昭59ゾ))などを決めて、閉会となりました。



【前列左から】

中山奈津子(平15海)、森岡泰啓(昭38ゾ)、井関和夫(昭46ゾ)、北辻さほ(平17海)

【後列左から】

佐藤之紀(昭59ゾ)、伊藤 篤(平5ゾ)、永井達樹(昭48修漁)、羽原浩史(昭55化)、石田 実(昭57ゾ)

クラス会 報告

北水同窓会函館支部 平成24年度 総会・懇親会

片岡 大介 (平22海生)

平成24年7月22日(日)、支部会員36名が出席され、北海道大学水産学部内の厚生会館(食堂)にて平成24年度北水同窓会函館支部の総会及び懇親会が開催されました。

総会では志賀直信支部長(昭44ゾ)の挨拶と北水同窓会本部の高橋是太郎幹事長(昭50食)の挨拶の後、函館支部の種田貴司幹事長(昭56食)の司会進行の下、平成23年度事業報告と決算報告及び平成24年度事業計画と予算、役員が承認されました。なお、秋の同窓会(懇親会)について、今年は11月頃に予定していることも併せて報告されました。

引き続いて、若狭哲郎氏(昭29セ)の乾杯の発声で懇親会が始まりました。学生時代に通っていた食堂での懇親会ということで皆さんが懐かしさを感じながら話に花を咲かせ、懇親会の途中には北海道大学水産学部落語研究会の喋子小吉、酔亭微笑女、ポア田ボア藏の3名による寄席が行われ、笑いを誘われると共に現役の後輩の活躍に感動を覚えていました。

口演終了後、北水落語研究会のメンバーにも懇親会の席に加わってもらい、先輩諸氏から歓迎を受けていました。

最後に筆者である片岡大介(平22海生)の締めの乾杯の発声の後、食堂前での記念写真に続き、山本洋一氏(平2ギ)の前口上で「水産放浪歌」、「都ぞ弥生」を全員で肩を組み合わせて歌い、次回の再会を約束し散会となりました。

なお今回、特別会員の鵜沼ワカさんも参加され、多くのOBの方々と旧交を温め、大いに盛り上がっていらっしゃいました。

今回は初の試みとして北海道大学水産学部内で総会・懇親会が執り行われましたが、学生時代の懐かしい気分を味わえた総会・懇親会となりました。

出席者

若狭 哲郎(昭29セ)	島崎 健二(昭33エ)
山崎 文雄(昭33ゾ)	澤崎 達孝(昭37ゾ)
早瀬 孝重(昭39エ)	水戸 孝夫(昭43ギ)
高橋 豊美(昭44エ)	志賀 直信(昭44ゾ)
伊藤 悅郎(昭45ギ)	三佐川 稔(昭45ギ)
高橋 玄夫(昭46化)	佐々木 俊雄(昭49ゾ)
高橋 是太郎(昭50食)	飯田 浩二(昭51ギ)
今井 義弘(昭52ギ)	種田 貴司(昭56食)
伊東 尚美(昭56化)	佐藤 友則(昭57食)
横山 信一(昭58ギ)	小野 浩(昭59食)
大島 六生(昭60化)	宮崎 永司(平元ギ)
渡野邊 雅道(平元ギ)	本間 隆之(平元ギ)
山本 洋一(平2ギ)	工藤 秀明(平3ゾ)
柳町 琢也(平4化)	澤村 正幸(平5ギ)
兵庫 隆俊(平5ギ)	阿部 慶太(平5化)
小園 敏弘(平9ギ)	岸 元祐二(平15海)
笹川 英里(平19資)	江藤 彰洋(平22水院)
片岡 大介(平22海生)	鵜沼 ワカ(特別会員)



北水同窓会 函館支部 総会・懇親会 2012.7.22
於 北海道大学水産学部厚生会館

□来訪OB/OG

平成24(2012)年7月30日
徐雲鵬(昭19セ)氏の娘さんご家族が
訪問されました。
「元気で頑張っています。」との事です。
(本部事務局)



写真は奥様と娘さんと共に

□学位取得者

【平成24年6月取得】

取 得 者	論文題目
宋 惠眞	Studies on growth and reproduction of the Japanese common squid, <i>Todarodes pacificus</i> (Cephalopoda : Ommastrephidae) (スルメイカの成長と成熟に関する研究)
飯村 九林	Molecular studies on the evolution of teleost fish scales from odontogenic component on the dermoskeleton of armored fish (Ostracoderma) (魚類の鱗進化に関する分子生物学的研究-硬骨魚類の鱗は甲冑魚類外骨格の歯様組織から進化した)

【平成24年9月取得】

取 得 者	論文題目
佐伯 公康	漁港の労働改善に向けた漁獲物取り扱い時の工程・作業評価に関する研究
野呂 恭成	津軽海峡におけるミズダコとマダコの生態と資源管理に関する研究
杉村 留美子	褐藻素材中の脂溶性成分の安定性と食品への応用に関する研究

□会員の異動

大学院水産科学研究院		該当なし
水産学部		該当なし

会員死亡通知

山井 年男 (昭16後ギ)	平成25年 1月26日	市川 渡 (昭22ギ) 様より
清水 築一 (昭17ヨ)	平成24年11月13日	ご家族様より
久保周 一郎 (昭19セ)	平成24年11月18日	羽田野六男 (昭31セ) 様より
青 正輔 (昭22セ)	平成24年11月19日	兵庫県支部様より
河崎 晋弥 (昭23ギ)	平成24年11月14日	服部晴夫 (昭23ギ) 様より
柴田作治郎 (昭23ギ)	平成25年 1月10日	服部晴夫 (昭23ギ) 様より
田名部政春 (昭23ギ)	平成24年 5月 1日	ご家族様より
本間多嘉夫 (昭23ギ)	平成25年 1月19日	服部晴夫 (昭23ギ) 様より
桜井政夫 (昭23エ)	平成24年10月22日	ご家族様より
大川 昭三 (昭23セ)	平成24年 8月12日	
高橋 日出彦 (昭23セ)	平成24年 8月14日	
金澤吉衛門 (昭23教ゾ)	平成24年 3月31日	ご家族様より
倉健蔵 (昭24ギ)	平成23年10月16日	ご家族様より
黒島和夫 (昭24ギ)	平成24年 3月14日	ご家族様より
小平昇 (昭24ギ)	平成24年 2月29日	ご家族様より
丹羽和美 (昭24ギ)	平成24年 8月16日	千場益夫 (昭24ギ) 様より
三上弘 (昭24ギ)	平成24年10月30日	水澤六郎 (昭23ゾ) 様より
板谷肇 (昭24エ)	平成24年 9月 1日	安井敬一 (昭24エ) 様より
川越政行 (昭24エ)	平成24年 7月30日	安井敬一 (昭24エ) 様より
鈴木康雄 (昭24セ)	平成24年11月16日	中村榮八郎 (昭24セ) 様より
富井文二 (昭24セ)	平成24年 9月21日	水澤六郎 (昭23ゾ) 様より
宮下英三郎 (昭24セ)	平成24年 8月 7日	ご家族様より
井床勇次 (昭26エ)	平成24年12月19日	前田辰昭 (昭26エ) 様より
千葉勝信 (昭26セ)	平成24年12月12日	ご家族様より
広田一夫 (昭26セ)	平成24年12月10日	穴澤邦雄 (昭26セ) 様より
天野桂司 (昭26ゾ)	平成22年 3月24日	川端昭治 (昭26ゾ) 様より
白石俊夫 (昭28セ)	平成24年 8月15日	遠藤清美 (昭28セ) 様より
吉田和夫 (昭28セ)	平成24年 3月	ご家族様より
新明章 (昭29セ)	平成24年 9月18日	岡川伸 (昭29セ) 様より
五十嵐哲也 (昭30エ)	平成24年 9月21日	ご家族様より
藤田行徳 (昭30エ)	平成24年 6月14日	山田信夫 (昭30セ) 様より
安田睦 (昭30エ)	平成23年11月19日	ご家族様
渡部淳一 (昭30セ)	平成23年 9月13日	ご家族様より
志尾壹 (昭30ゾ)	平成24年 6月15日	ご家族様より
荒木弘 (昭31ギ)		羽田野六男 (昭31セ) 様より
井関英朗 (昭32エ)	平成24年 9月27日	杉田哲夫 (昭32エ) 様より
石崎昭二 (昭32ゾ)	平成24年 1月14日	ご家族様より
露本隆 (昭34ギ)	平成24年 5月12日	東山誠 (昭34エ) 様より
穴吹光雄 (昭36ギ)	平成23年	ご家族様より
相田忠郎 (昭36セ)	平成23年 7月16日	ご家族様より
坪田弘太郎 (昭36ゾ)	平成23年11月24日	ご家族様より
松尾淨平 (昭36ゾ)	平成24年12月14日	町田建治 (昭36ゾ) 様より
江川雄而 (昭37ゾ)	平成23年 4月25日	ご家族様より
丸谷雄二 (昭37ゾ)	平成23年10月	ご家族様より
中畑辰雄 (昭39セ)	平成24年 7月 2日	奥野信博 (昭40エ) 様より
大野元經 (昭40セ)	平成24年10月24日	奥野信博 (昭40エ) 様より
佐藤茂 (昭44ゾ)	平成24年 8月27日	ご家族様より
谷伸昭 (昭45食)	平成21年	ご家族様より
白井信夫 (昭46ゾ)	平成24年 8月 5日	ご家族様より
北川章 (昭47ギ)	平成24年12月 7日	柳川延之 (昭52ギ) 様より

親潮投稿規定

【寄稿、支部・会員便り、会員の受賞、ご案内など】

一つの投稿につきA4版・1ページ(2000字程度)までとする。この制限以上の長文あるいは連載を希望される場合は2号分までとする。写真を入れる場合、その分の文字数が減る。また写真はホームページに掲載することもできる。原稿は、同窓会宛に封書で郵送するか、同窓会のメール宛に送付することとする。

【同窓生の声】

同窓会誌に対する意見、感想などについての投稿とする。個人的な連絡は掲載しない。一つの原稿につき300字までとする。同窓会宛のメール(hokusui@hotweb.or.jp)のみ受け付けれる。写真は入れられない。

【編集後記】

平成24年度「親潮」第2号をお届けします。今号で「親潮」は通算300号目を迎えました。

今年度はこの300号のキリ番に合わせたかのように、北大の同窓生が集う「北海道大学ホームカミングデー」の第1回が開催され、また、北水同窓会でも新たな支部として韓国支部の創立といった大きな動きがありました。今号では本部幹事長報告としてその詳細を掲載しております。また、長年にわたり医務室にお勤めだった鶴沼ワカ氏(特別)からは東日本大震災に関する同窓生やおじょろ丸のレポートが寄せられました。

特集「北水の今」は教育・研究についてのトピックスを扱っています。これまで水産学部の新しい制度や設備、研究プロジェクトなどを中心に紹介してきましたが、今号ではより研究に踏み込んだ内容で、しかも我々にとって身近な海藻の話題を取り上げました。

平成25年度第1号は通算301号目の親潮になります。原稿の締め切りは、平成25年7月10日(必着)とさせていただきます。寄稿につきましては、郵送もしくは電子メール(hokusui@hotweb.or.jp)にて受付をしております。支部報告や同期会報告、著書の紹介など、皆様ふるってご投稿くださいますようお願い申し上げます。詳しくは上欄の投稿規定をご参照ください。

(編集幹事／安藤靖浩 昭63化)

地域の活性化のために全身全霊の情熱で取り組みます。

NAKAYAMA MEDICINES CO. LTD



株式会社 中山薬品商会

代表取締役 中山一郎

本社 〒040-0075 函館市万代町20番10号 PHONE (0138) 40-6275・FAX40-3939
釧路営業所 〒084-0903 釧路市昭和町2丁目15番地3 PHONE (0154) 52-4101・FAX52-4103
札幌出張所 〒065-0031 札幌市北3条東19丁目6番14号 PHONE (011) 299-5493・FAX299-5493

<http://hakonaka.jp>

いま豊かな食生活。
見直しましょう魚のある暮らし。

青森市中央卸売市場

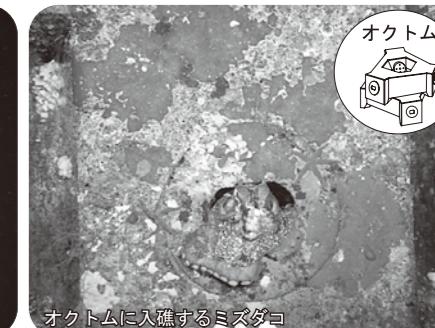
中水

青森中央水産株式会社

代表取締役社長 石川栄一

〒030-0183 青森市卸町1番1号
鮮魚部 TEL 017(738)1281
冷凍部 TEL 017(738)8221
塩干部 TEL 017(738)5511
加工部 TEL 017(738)6581
企画部 TEL 017(738)1281
管理部 TEL 017(738)1181

ホームページ <http://www.aochuu.co.jp>



海洋土木株式会社

本社 東京都中央区銀座3-9-11

TEL : 03-3544-5511 <http://www.kaiyodoboku.com>

代表取締役 鈎木和三 (38ゾ)

専務取締役 石井直志 (49ゾ)

取締役札幌支店長 川眞田憲治 (48修増)

札幌支店長代理 佐々木洋 (53ギ)

青森営業所長 山口伸治 (49化)

札幌支店部長 村井和明 (59ゾ)

技術部次長 日和久典 (平6ギ)

玉館竹田

株式会社

竹田食品

代表取締役 竹田寿広

食卓に函館の味を



本社工場 函館市浅野町3番10号

TEL (0138) 43-1110(代) FAX (0138) 43-1113

札幌営業所 北海道札幌市中央区北13条西19丁目1番1号(水産保冷配達センター3F)

TEL (011) 623-0990 FAX (011) 644-9910

竹田食品販売㈱ 東京都中央区築地7丁目5番3号(紀文第一ビル2階)

TEL (03) 6226-6820 FAX (03) 3545-2135

竹田食品販売㈱ 宮城県仙台市青葉区本町2丁目9番8号(日宝ビル5階3号室)

TEL (022) 772-1970 FAX (022) 722-1987

竹田食品販売㈱ 大阪府大阪市淀川区西中島4丁目3番5号(NLCセントラルビル5階)

TEL (06) 6307-5311 FAX (06) 6307-5358



交通、医療、労働災害事故・会社再建、倒産
サラ金破産、債務整理・個人再生・相続、遺言

相談料は全て無料です

吉原法律事務所

札幌弁護士会 弁護士 吉原美智世
(昭和48年増殖学科卒業)

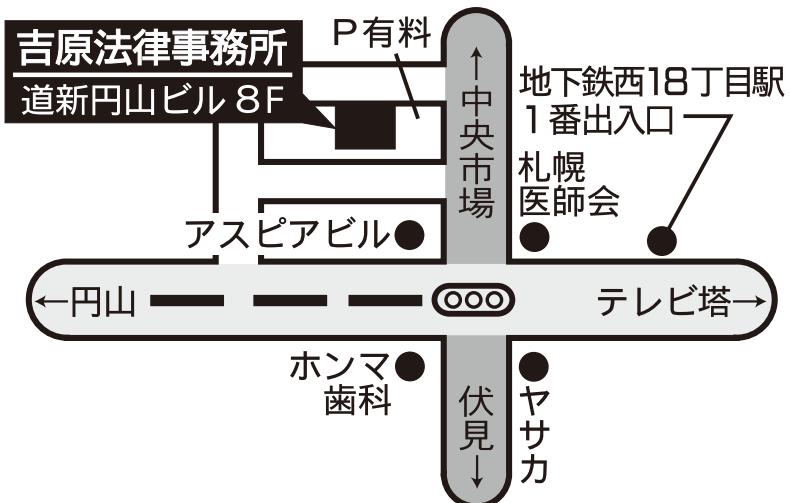
お気軽にお問い合わせ下さい

TEL 622-7963 FAX 622-8414

札幌市中央区大通西20丁目2-20(道新円山ビル8階)

(交通)東西線西18丁目地下鉄1番出口

(E-mail) lawyer@yoshihara-lawoffice.jp



営業時間においでになれない方はご相談下さい。